

# 古志福祉だより

**第 92 号**  
 令和 6 年 1 月  
**古志地区社会福祉協議会**  
 TEL 21-0925  
 FAX 21-1066

ふれあいと みんなが 笑顔の まちづくり

## ■ノルディックウォーキング

高齢者部 部長 横木行夫  
 10月19日にノルディックウォーキングを行いました。この運動は、左右両手にそれぞれ一本ずつポール（棒）を持ち、交互に前後させ体を支えながら歩くものです。当日は、10名の参加により、目的地「花の郷」まで小休憩をはさんで約40分で到着しました。花の郷では整然と咲きそろそろ色鮮やかな花々を眺めながらそれぞれ館内外を散策しました。  
 そして花の郷を11時過ぎに出発し、正午前に無事古志コミセンに着くことができました。講師としてお世話になりました船木幸雄様には心より感謝いたします。



## ■子ども福祉ボランティア活動

青少年部 部長 高塚康代  
 文化祭では募金活動を行い、集まった皆さまからの善意により21,784円を「令和5年6月山口県豪雨災害義援金」として出雲市社会福祉協議会に持参しました。



## ■古志福祉の日

総務部 部長 勝部和徳  
 11月23日の古志福祉の日に、福祉講演会を開催しました。佐藤内科クリニックの佐藤秀俊先生を講師にお招きし、皆様が関心を持っておられる「糖尿病について」という演題で講演して頂きました。福祉講演会は、新型コロナ禍で4年ぶりの開催になりましたが、60名を超える沢山の参加がありました。先生には解りやすく丁寧なお話をして頂き、参加者の皆様には糖尿病について、より一層理解を深められたことと思います。  
 また、区民ホールで「ことぶき市」を開催しましたところ、農産品等たくさんの出品があり、出品者、購入者ともに喜んでいただき、古志福祉の日を盛り上げることができました。

戦後も今年で七十八年になりました。先の大戦では犠牲者を三百万人出しましたが、そのうち二百四十万人が軍人の犠牲者でした。現在、中近東やウクライナ周辺で毎日戦死者を出しておりますが、昭和十九年、二十年頃の日本はもっとひどい状況でした。そのうえ、たった二発の原子爆弾で二十万人もの人が命を奪われました。  
 古志地区でも戦死者が六



古志地区戦没者合同慰霊祭への御礼  
 古志地区遺族会 会長 勝部 均  
 十三柱にのぼり、五十四戸がその遺族になりました。現在では遺族も高齢化いたしました。各地の慰霊祭法要は縮小化、省略化が行われる傾向にあるようですが、あれほどの人が犠牲になった戦争をしてしまったことを、忘れてはならないのです。  
 本日は合同慰霊祭、誠に有難く御礼を申し上げます。



## ■りんごちゃん教室

乳幼児部 部長 三谷裕美子  
 12月のりんごちゃん教室はクリスマス会をしました。23名のうち、3名はお父さんの参加でした。もっと多くのお父さんに一緒に参加していただくと嬉しいです。  
 クリスマス会では、毎年てての会が人形劇をしてくれます。今年は、まず3匹の子ぶたが登場しました。1歳以下の子ども達も熱心に見ているのにびっくりしました。続いてトナカイが登場して、サンタさんを迎えに行ってくれました。  
 クリスマスプレゼントと、サンタさんとの記念写真で、親子とも笑顔に溢れ、楽しいクリスマス会になりました。



## ■十一月・十二月の活動から

高齢者部 部長 横木行夫  
 十一月二十七日、第一回健康マージャンを行いました。当日は、十二名の参加により、四名一卓の計三卓を囲むことができました。久しくマージャン牌を握っていないので、両手で十数牌を積み上げられない様子も見受けられました。飲まない（酒）、賭けない（金）、吸わない（たばこ）をモットーに、「ロン」という心地よい上がり言葉を目指して、若返ったような気分が楽しくまた親しく、約二時間のゲームに浸ることができました。第二回は来年三月を予定していますので、初めての方も是非参加してください。

十一月十五日、室内バタンクを開催しました。三名一組ずつの四チーム十二名で、予選二試合、三位決定戦、優勝戦の四試合を行いました。標的球（ピュット）に近づけられるように、また相手の玉に自分の玉を当て、標的に近づけられるように交互に投げ合いました。投球ごとにそれぞれのチームから一喜一憂される姿が見られ、とても微笑ましく思いました。約一時間は、このゲームを通じて新たな出会いもあり、有意義なひと時となりました。



## ■まごころの品の販売

総務部 部長 勝部和徳  
 10月28日、29日に開催された「古志文化祭」で社会福祉協議会は「まごころの品の販売コーナー」を担当しました。この催しは新型コロナ禍で令和2年から中止しており、4年ぶりでしたが、町内の皆様には沢山のまごころの品を提供していただきました。  
 また、当日は多くの方に購入していただきました。なお、それ以降もしばらくの間コミュニティーセンター入口付近で、販売を続けさせていただきます。



お陰様で、3万5千円余りの収益金がありました。これは、社会福祉協議会の活動に大切にに使わせていただきます。この催しにご理解ご協力いただきました皆様に心から御礼申し上げます。

## ■お楽しみクリスマス会

(オカリナ演奏)  
 古志元気サロン部 部長 吉井乃里子  
 12月20日、元気サロンでは、オカリナ愛好グループ「ゆるりー」の5名の方をお招きして、オカリナの演奏と歌を楽しみました。「冬景色」「きよしこの夜」など季節の歌に始まり、「学生時代」「恋のバカンス」「瀬戸の花嫁」「見上げてごらん夜の星を」等々、昭和の女子の心をくすぐる懐かしい歌の数々…。皆、オカリナの優しい音色に、それぞれの歌にまつわる情景やその頃の自分の思い出を重ねながら口ずさみました。  
 最後に「高原列車は行く」を振り付きで高らかに歌い上げ、今年の活動を笑顔と元気で締め括りました。



俳句  
 五七会  
 こはくちよう優雅に映し水面立つ  
 曇り空つるべ落しの水雨かな  
 南天は赤く熟して鳥を待ち  
 原 小夜子  
 宮廻千代子  
 高橋 美夫

この「古志福祉だより」は、「出雲市社会福祉協議会の会費、寄附金及び共同募金を財源とした出雲市社会福祉協議会地区社協等活動総合支援事業の助成金」を財源の一部として発行しています。